

創作狂言

千葉



小笠原 匡

〈出演者〉
小笠原 匡 (和泉流狂言師)

野村 万禄 (和泉流狂言師)

小笠原 弘晃 (和泉流狂言師)

千葉わらいワークショップ受講者

千葉市内神社神楽囃子連

都町諏訪神社お囃子会

登渡神社登戸囃子連

〈演目〉

一部 神楽囃子

「祭囃子、道化舞、寿獅子2頭舞い」

二部 狂言

「舟、いな」

創作狂言「千葉わらい」

※都合により、演目及び出演者は変更する場合がございます。

平成23年12月11日(日)

開場13:30 / 開演14:00

千葉市民会館 大ホール

千葉市中央区要町1-1

【全席指定】一般2,000円、高校・大学生1,000円、小・中学生500円(消費税込)

販売開始 平成23年9月15日(木)〜

●プレイガイド

千葉市民会館 043-224-2431
千葉市若葉文化ホール 043-237-1911
京葉銀行文化プラザ 043-202-1790

千葉市文化センター 043-224-8211
千葉市男女共同参画センター 043-209-8771
千葉市美浜文化ホール 043-270-5619

インターネット予約

千葉市文化振興財団

検索

twitter @culturechiba

■主催/お問合わせ 財団法人千葉市文化振興財団(アートブレックスちば専売体) 043-221-2411 <http://www.f-cp.jp>

■共催 財団法人千葉県文化振興財団 ■後援 千葉市、千葉市教育委員会 ■協力 千葉笑い復興会、千葉大学、若葉の会

解説

袴狂言

舟ふねふな シテ

アト

小笠原弘晃

小笠原 匡

創作狂言

千葉わらい

作・演出

小笠原 匡

殿様

野村万禄

太郎冠者

小笠原 匡

一同

ワークシヨップ参加者

千葉大学生

若菜の会

小笠原 匡

小笠原 匡

和泉流狂言師

公益社団法人 能楽協会会員
日本能楽学会員
重要無形文化財総合指定保持者

1965年東京生まれ。

初世 野村 萬(文化功労者・芸術院会員・芸団協会会長・人間国宝・能楽協会理事)と、故8世 野村万蔵、9世 野村万蔵に師事。

すでに狂言の大曲である「奈須与市語」三番源「釣狐」全曲「花子」を抜く。また、新作狂言「鉢かつぎ」新千葉笑「光源氏」等の作・演出を手がける。

さらに、能・狂言・文楽・落語・講談・和太鼓という6つのジャンルのコラボレーションをめざした「風流」を主宰して、「刀こぶ」(良寛さん)

「石川五右衛門」等を作・演出する。
愛知万博開催記念特別公演「ふるさと四季」や「平成版・阿国歌舞伎」作・演出・主演。

2005年はNHK大河ドラマ「義経」、2006年はNHK全曜時代劇「出雲の阿国」の芸能指導を担当した。2007年には「狂言と鼓童のコラボレーション・蓬萊真蹟」を作・演出する。

千葉県では2006年より「房総発見伝1N狂言」企画をプロデュースして毎年千葉県の神話民話風習を題材に創作狂言を制作・演出している。

2009年にはTBS歴史特番「唐招提寺」ドラマの芸能考証及び所作指導を担当。

現在 萬狂言関西支部代表、千葉大学客員教授、千葉放送大学非常勤講師、和太鼓楽団「鼓童」講師

創作狂言「千葉わらい」とは

創作狂言とは、古典の狂言に対して新たに千葉の伝承文化を伝統的古典芸能である狂言の手法によって復活し、芸術性の高文化として未来に発信することを目的に演じられるものである。

今回、演目となる「千葉笑」は千葉市の千葉寺で、昔、大みそかの夜に住民が頭を覆い、面を被つて集まり、奉行・役人の不正から近所者、親兄弟に至る人々の年間の行動の善悪を言い立てて、大笑いした行事で、これによって、奉行・役人たちは身を慎んだといわれている。

この行事は、地域の人々によって主催され、政治・文化に大きな影響力をもっていたため多くの国学者から称賛されたが、明治時代以降、廃れてしまった。

今回の創作狂言「千葉わらい」は、この行事を狂言として演ずるもので、千葉大学の学生が台本を制作し、上演される。

なお、「千葉笑」の行事は2010年12月31日に千葉市中央区千葉寺の境内で地域の人々によって復活された。その後、千葉笑を地域文化として継承するため「千葉笑い復興会」が発足した。

千葉市内神社神楽囃子連

「祭囃子」

大囃子おほびし、昇殿しょうだん、鎌倉等の五囃子が一連となって演奏される。

「道化舞」

仁羽という曲にあわせて、道化が踊る。ひよっこ、岡崎、おかめなどの面を使用する。

都町諏訪神社お囃子会

都町の中心部は江戸時代には辺田村とい
い、その氏神である諏訪神社では、当時神
楽や囃子が奉納されていたようである。現
在の都町お囃子会は近郊の作草部神社神楽
連より教えを受け、毎年諏訪神社の例祭に
参加している。

「寿獅子2頭舞い」

登戸の獅子舞は獅子頭の中に1人が入る舞
い形式で、道化のもとき役が付く。家内安全、
高亮繁盛を祈願する獅子舞である。

登渡神社登戸囃子連

地元登渡神社のご祭礼を中心として、千
葉市の産業祭りや海外の姉妹都市との文化
交流会などに積極的に参加し、幅広く活動
している。その生い立ちの歴史は明治時代
の中ごろに深川系の神楽囃子が登戸の地に
伝わり、現在に受け継がれている。

狂言きやうげんとは

日本の古典芸能(「笑い」)の芸能と言われ

る。内容的には風刺・失敗談など滑稽さの
あるもの。主として科(く)と白(せり)に
よって表現される喜劇。能と同様に猿楽
から発展した伝統芸能で、猿楽の滑稽味を
洗練させた笑劇。室町初期以来、能と密接
な関係を保ってきたので、能と狂言を一括
して「能楽」とよぶ。